

Y I A 会員だより 2022 年 2 月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)
第 206 号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【2 月以降の活動予定他】

※鴨島第一中学校での国際理解授業

日時：2 月 1 日（火）13 時 30 分～

場所：鴨島第一中学校 講師：新居 博さん

※国際理解講座

日時：2 月 26 日（土）13:00～

場所：文化研修センター 講師：新居 博さん

◆日本語教室の受講生がホームステイ 萩森 健治

12 月 31 日～1 月 1 日に、日本語教室で学ぶベトナム女性 5 人が我が家でホームステイし、年末年始を楽しみました。31 日の夕方に来て夕食、紅白歌合戦を見て近くのお寺で除夜の鐘を突き、年越しソバを食べて 2 時ころ就寝。元旦は 10

番札所の切幡寺へ初詣。夕方に解散しました。私にとっては 5 人の娘

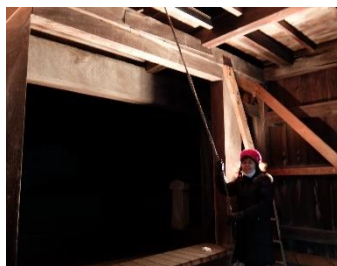
（孫？）が帰省したような気分で、とてもうれしかったです。



楽しかったお正月

グエン・ホン・ホック

日本のお正月、皆さんはどうでしたか？ 私は今年のお正月がとても楽しかったです。ずっと先生と友人といっしょにいた。12 月 31 日に私たち 5 人は、先生の家を集まって一緒に食べたり、しゃべったり音楽を聴いたりしました。私たちは、



よく笑って楽しかった。それから夜の 12 時に先生と私たちはお寺へ行って鐘をならしました。良い年を祈った。帰ってから先生にソバ汁を作ってもらいました。おいしかったです。その後先生の家泊まった。2022 年 1 月 1 日朝起きたら先生からお年玉をもらった。うれしかった。



前列右がホックさん

私たちが準備した鍋物を食べました。お腹がいっぱいでした。終わってから古いお寺へ行きました。たくさん綺麗な写真を撮った。おみくじを引いた。ヤッター今年は良いことある。先生と友達は私の家族のようです。いつまでも日本にずっと住んでいたいです。心から先生に感謝します。

◆『日本の伝統的正月遊び体験』 三原 敦子

2022 年 1 月 9 日、山川日本語教室で『日本の伝統的正月遊び』を体験してもらいました。当日はベトナム、中国、インドネシアの実習生 5 人が集いました。前半は日本語教室の趣旨から、羽子板・けん玉・福笑い・折り紙などの言葉や「笑う門には福来る」といったことわざの学習をしました。そして早速実践、練習後けん玉競争、一定時間内にどれだけ成功する



かを競いました。最近足腰が硬くなってきている私は、失敗の連続でした。次に羽子板国別対抗合戦。これまた日本チームは惨敗。「インドネシアはバドミントンの盛んな国だからね」などと負け惜しみともつかないため息をもらす日本チームでした。

そして折り紙でめめたい鶴を折りました。

数日後にインドネシアに帰国する人には「安全な空の旅を祈る」、金色の紙で折ったベトナムの人には「健康で仕事が順調にいきますように」中国の人には「鶴亀は両国でも長生きのめでたい動物だね」と言って渡しました。最後に福笑いをして、大笑い。私などは自画像かな？と思うほど似ていたような気がします。

伝統的正月遊びとはいえ、最近めったに見られなくな

った遊びばかりです。素朴で、ゆったり



としたこの遊びを我々自身が大切にしないといけないなあと思いました。

◆マーフィーさんの母親が英会話教室で特別講義 瀬尾規子

1月25日の「マーフィーさんの英会話教室」で、元青年海外協力隊員の母親（渡邊嘉津美さん）が特別ゲストとして講義しました。日本語を交えて流暢な英語でお話してくれました。渡邊さんは、平成5年に臨床検査技師として2年半アフリカのザンビアに派遣さ

れ、病院で臨床検査の仕事に就いている人たちの指導をしました。受講生の8～9割は、資格を持たない40代の人たちでした。教育環境はあまりよくなく、教科書もなく教材は自腹で印刷したそうです。試験になると学生がボイコットして、指導は中途半端で終わったそうです。ザンビアでは、水は沸かしてろ過して使いました。十分沸いていない水を飲んで、ひどくお腹を下してしまったそうです。主食はトウモロコシの粉をお湯で練って団子状にしたシマというものです。ザンビアは発展途上国で人々の生活は困窮しており、盗難にあうなど治安は悪かったそうです。任務中にイギリ



ス人の夫と出会い、一緒にストリートチルドレンの支援活動を行いました。当時、ザンビアではHIVが蔓延し、親を亡くした子ども達が路上で暮らしていたそうです。現地で住んでみて、日本から送られた高額な医療機器が、ほこりをかぶって使われていないなど、途上国への援助に無駄が多く、援助ではなく自立支援を行うべきだと感じたそうです。17年間ザンビアで暮らし、日本に戻って12年になります。実家は埼玉県で、祖父母は新潟在住ですが、ザンビアで医療活動を行っていた吉田医師（山川町のさくら診療所の医師）と出会い、徳島は山も川もあり、いい所だよと誘われて、山川町に住むことになりました。興味深いお話をたくさん聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

YIA 定例活動 他 ◆日本語教室：日本語で教えています。講師募集中！

【鴨島教室】 毎週日曜日 13：30～15：30 【山川教室】 毎週日曜日 10：00～11：30

お問い合わせ先：萩森健治 ☎0883-24-8653